

第65期
中間事業報告書

2015年4月1日から2015年9月30日まで

Shopwell
Eatwell!

GOOD MEAL



アクシアル リテイリング グループ経営理念

我々は毎日の生活に必要な品を
廉価で販売し、
より豊かな文化生活の実現に
寄与することを目的とする。

アクシアル リテイリング グループビジョン

Advanced Regional Chain

アドバンスト

リージョナル

チェーン

お客様へより一層のメリットを提供するために、
「強固で優良なリージョナル・チェーン※」を
目指し、重点項目を掲げ、邁進してまいります。

※リージョナル・チェーン：一定数以上の店舗を出店している商圏が2つ以上あるチェーンストア。

1 日本一のサービス

「判断の基準はお客様」を念頭に、お客様に満足していただけるよう、
基本の徹底とレベルアップを図ってまいります。

2 SSM* 200店舗

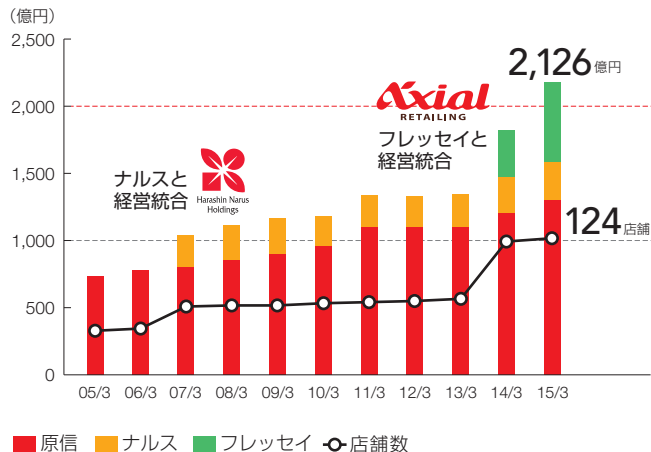
一定数以上の適正規模を備えた店舗を有するチェーンストアの形成に
より、価値を創造し、お客様へより高いメリットを提供してまいります。

※SSM(Super Supermarket)：売場面積500～800坪のスーパーマーケットのこと。

3 信頼の構築

日々ご来店いただく多くのお客様や
当社グループを取り巻く様々なステークホルダーにとって、
信頼していただける企業風土作りに努めてまいります。

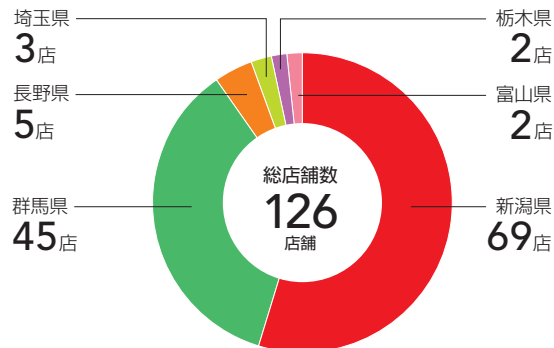
年間連結売上高推移



店舗数(2015.9月末現在)

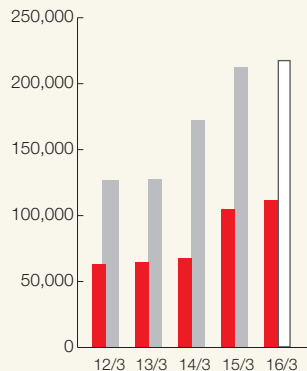


地域別店舗数



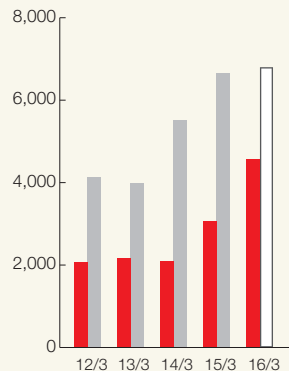
売上高

1,111億円

 前年同期比
5.9%増


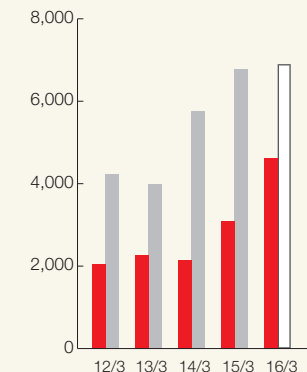
営業利益

45億円

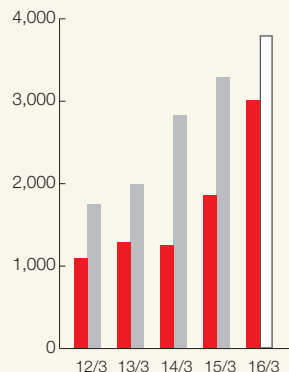



 前年同期比
48.5%増


経常利益

46億円

 前年同期比
48.6%増
親会社株主に帰属する
四半期(当期)純利益

30億円

 前年同期比
61.2%増

 中間
  期末
  期末予想
 単位：百万円

アクシアル リテイリングが誕生して、2年が経過しました。この間、グループの経営理念とビジョンを定め、チェーンストアの基盤整備に努めてまいりました。おかげさまで、当中間期の業績は増収増益となりました。これからも現状に満足することなく、変化し続け、チェーンストアとしてより高いメリットを地域の皆様に提供してまいります。株主の皆様におかれましては、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長




スーパーマーケットの店舗展開



新潟県、長野県、富山県に

76

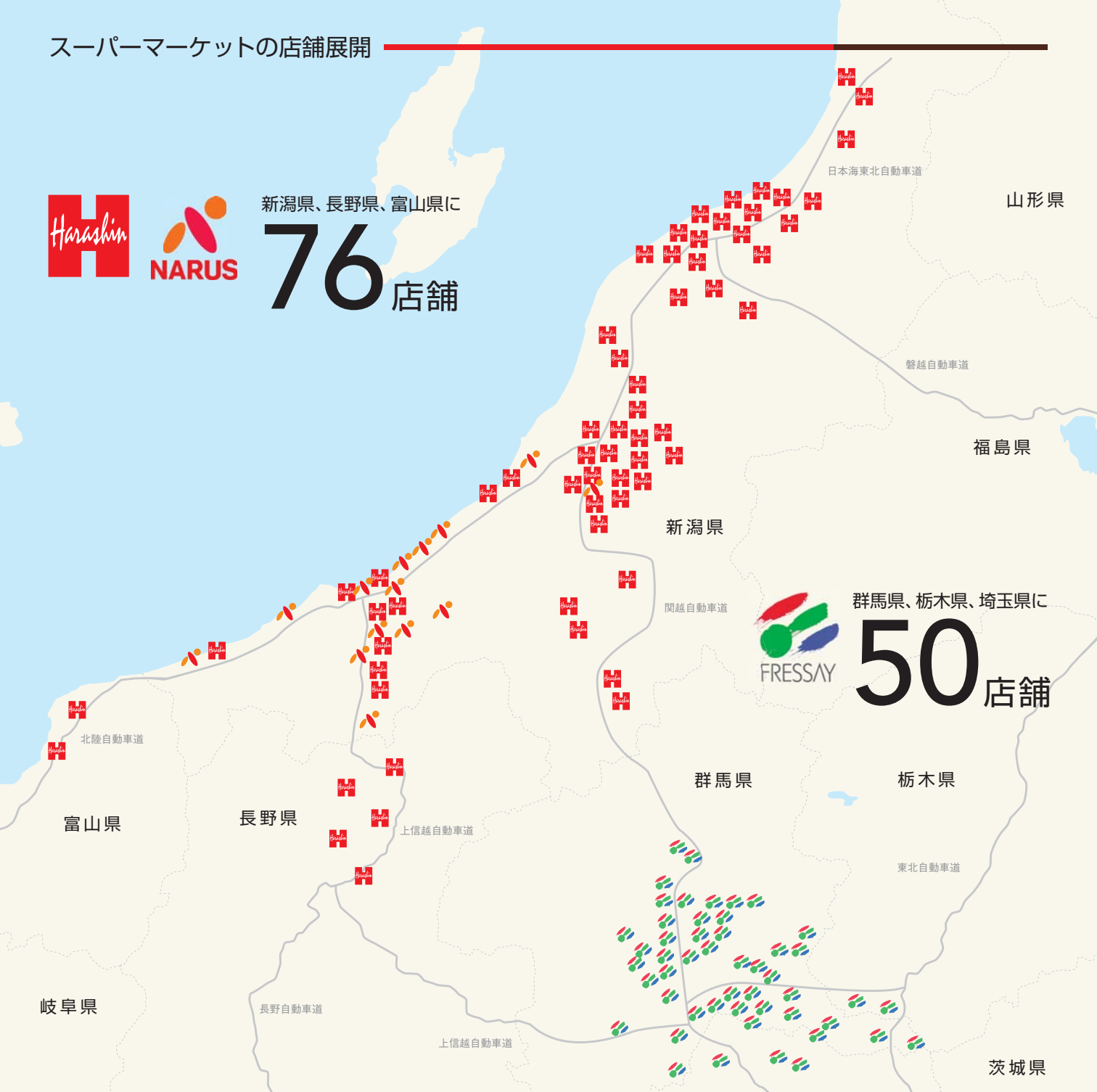
店舗



群馬県、栃木県、埼玉県に

50

店舗



当社は、グループビジョン実現に向け、
中期経営計画を定め実行しています。

中期経営計画(2015-2017)

出店政策

- ・ドミナントエリア^{※1}の深耕
- ・店舗の標準フォーマットを確立

マーチャン ダイジング^{※2}推進

- ・原信ナルス：ニューコンセプトの進化
- ・フレッセイ：新しいマーチャンダイジングの確立

最適 オペレーション構築

- ・時間帯別の最適な売場を実現する
人員配置、作業
- ・DC(在庫保管型物流センター)、
自動発注の活用

ロジスティックス^{※3} 全体最適

- ・フレッセイ新物流センターの開設
(2016年第2四半期予定)
- ・食品製造子会社ローリーの機能拡充

情報システム 基盤整備

- ・基幹システム共有化
- ・管理会計などマネジメント系システムの統一

数値目標	2015年度	2016年度	2017年度	3ヶ年計
売上高	2,180億円	2,257億円	2,290億円	投資150億円 開店13 閉店7
店舗数	127店舗	128店舗	130店舗	

※1 圧倒的な優位性を持つ出店地域

※2 商品政策

※3 商品の調達から販売までの一連の物流のしくみ

毎年3月31日および9月30日現在の株主名簿に記載または記録された、100株以上を保有される株主の皆様に対して、下記の贈呈基準をもとに、株主優待券(以下、「お買い物割引券」と表記します。)あるいは株主優待品の中から一点をご選択いただき贈呈いたします。

1. 株主優待制度の内容

- ① 贈呈内容 お買い物割引券または株主優待品のいずれかをお選びいただけます。
各々の贈呈基準は「2. 株主優待制度の贈呈基準」を参照ください。(お買い物割引券と株主優待品の両方を選択することはできません。)
- ② 対象者 100株以上の株主
- ③ 贈呈基準 3月31日および9月30日現在の株主を対象に年2回実施
- ④ 贈呈方法 対象者に案内書を送付し、案内書に添付された申込書に必要事項をご記入の上ご返送いただき、申込書と引き替えに商品等を贈呈いたします。

2. 株主優待制度の贈呈基準

(1) お買い物割引券(額面100円)

① 贈呈基準

100株以上	500株未満	15枚	3,000株以上	4,000株未満	150枚
500株以上	1,000株未満	30枚	4,000株以上	5,000株未満	200枚
1,000株以上	2,000株未満	50枚	5,000株以上		250枚
2,000株以上	3,000株未満	100枚			

② 使用方法

一回のお買上金額1,000円以上につき、1,000円ごとに1枚(割引額100円)利用可能

③ 使用できる店舗および対象商品

原信、ナルス、フレッセイの直営売場における全商品
(ただし専売品・商品券・その他指定商品は除く。)

④ 有効期限

3月31日現在の株主へのお買い物割引券は、配布日から翌年1月31日まで
9月30日現在の株主へのお買い物割引券は、配布日から翌年7月31日まで

(2) 株主優待品の贈呈基準

- 贈呈基準
- | | | |
|----------|----------|--|
| 100株以上 | 500株未満 | クオカード1,000円分 |
| 500株以上 | 1,000株未満 | 以下の2品より1品お選びいただけます。
・クオカード2,000円分
・新潟県産こしひかり(米)5kg |
| 1,000株以上 | | 以下の3品より1品お選びいただけます。
・クオカード3,000円分
・新潟県産こしひかり(米)10Kg
・自社開発品詰め合わせ1セット |

主要財務データ

四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

	前連結会計年度 2015年3月31日	当第2四半期連結会計期間 2015年9月30日
資産の部		
流動資産	24,311	23,535
固定資産	68,245	69,151
資産合計	92,557	92,686
負債の部		
流動負債	29,242	29,093
固定負債	21,481	19,337
負債合計	50,724	48,430
純資産の部		
株主資本	40,112	42,541
資本金	3,159	3,159
資本剰余金	15,749	15,749
利益剰余金	21,259	23,688
自己株式	△55	△56
その他の包括利益累計額	1,719	1,714
純資産合計	41,832	44,255
負債純資産合計	92,557	92,686

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 2014年4月1日から 2014年9月30日まで	当第2四半期連結累計期間 2015年4月1日から 2015年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,267	4,684
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,015	△2,019
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,620	△3,427
現金及び現金同等物の増減額	△2,368	△761
現金及び現金同等物の期首残高	10,944	12,210
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,575	11,448

四半期連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 2014年4月1日から 2014年9月30日まで	当第2四半期連結累計期間 2015年4月1日から 2015年9月30日まで
売上高	104,907	111,141
売上原価	76,698	80,886
売上総利益	28,209	30,254
販売費及び一般管理費	25,128	25,680
営業利益	3,080	4,574
営業外収益	115	104
営業外費用	92	66
経常利益	3,103	4,611
特別利益	4	5
特別損失	9	8
税金等調整前四半期純利益	3,098	4,608
法人税等合計	1,229	1,595
四半期純利益	1,868	3,012
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,868	3,012

四半期連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 2014年4月1日から 2014年9月30日まで	当第2四半期連結累計期間 2015年4月1日から 2015年9月30日まで
四半期純利益	1,868	3,012
その他の包括利益		
その他有価証券 評価差額金	102	3
退職給付に係る調整額	△9	△8
その他の包括利益合計	93	△5
四半期包括利益	1,962	3,007
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,962	3,007
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

当中間期の概況

当中間期におけるわが国経済は、雇用関連指標や企業収益など全般的には向上しているものの、地方経済への波及や個人消費の本格的回復には至っていない状況となっております。

このような状況において、当中間期における当社グループの連結業績は、売上高が1,111億41百万円(前年同期比5.9%増)、営業利益が45億74百万円(前年同期比48.5%増)、経常利益が46億11百万円(前年同期比48.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益が30億12百万円(前年同期比61.2%増)となり、各数値はいずれも過去最高となりました。

スーパーマーケット

(全般)

前年同期における消費税増税後の消費減退の反動で、前年同期との比較では当中間期の売上高は大幅に伸張いたしました。

しかし、当社グループを取り巻く経済環境は楽観できる状況にはなく、客単価は前年同期に比べ全店で2.7%増加し、一品単価は前年同期に比べて全店で2.9%増加した反面、買上点数は前年同期比で全店で0.2%減少しております。これは、物価上昇や社会保険料の個人負担増大等により個人の実質可処分所得が減少し、個人消費が力強さに欠けている表れと考えております。

このような厳しい販売環境において、当社グループでは、徹底的な無駄の排除と効率的な事業運営に取り組むことで、お客様にご支持をいただける商品の品質・価格、サービスを実現する原資を確保し、他社との差別化を図っております。

この結果、当中間期におきましては、客数が前年同期に比べ全店で3.4%増加し、既存店では前年同期とほぼ同様に維持することができました。

(商品政策)

春季につきましては、生鮮食品の全般的な相場高が続き、販売価格は高止まりして販売数量は伸び悩みました。一方、季節商品につきましては、新たな産地・商品の開拓や商品づくりの向上に努め、販売実績は伸張いたしました。

夏季につきましては、猛暑となりましたが残暑は短く、激しい環境変化に即した売場提案を行い、お客様のご要望にお応えできるよう努めました。

このほか、生活スタイルの変化を踏まえ、値ごろ感、即食性、おいしさ等を意識し、普段使いの商品についてご満足いただける品質を圧倒的な低価格で実現した「Power Price」商品の品種拡大、当社グループならではの名物商品の育成やプライベートブランド商品の開発を拡大し、ご好評を得ることができました。

(販売政策)

近年導入した自動発注システムの活用範囲を拡大し、品切れや店舗作業の削減を図るとともに、従来の作業を新たな作業に振り替え、適正活用することで売場状態やサービスレベルの向上を図っております。

季節催事に関しては、テーマを明確にして、商品の良さを知っていただく提案を工夫して積極的に行うことで、ご好評を得ることができました。

また、商品の安全性確保に関しては、社内ルールを強化し、安全・安心な商品の提供に努めました。

これらの結果、商品販売の売上総利益は前年同期に比べ0.3ポイント増加し25.2%となりました。

(コスト・コントロール)

原信ナルス、フレッセイが統合して以来進めてきた当社グループ全体での諸経費の見直し、共有、共同調達等の検討は、特に両社に共通する商品、資材、その他共通経費等でコスト削減効果が大きく表れるようになってきました。

この結果、スーパーマーケット事業の営業利益率は、前年同期に比べ1.2ポイント増加し3.9%となりました。また、連結全体での営業利益率は、前年同期に比べ1.2ポイント増加し4.1%となりました。

(出店・退店等)

出店につきましては、原信女池店(9月・新潟県新潟市中央区・売場面積2,086㎡)、フレッセイ榛東新井店(9月・群馬県北群馬郡・売場面積1,746㎡)を新設いたしました。

退店につきましては、フィットネスクラブのフィッツミー大利根店(4月・群馬県前橋市)を閉鎖いたしました。

新たなるマーチャндаイジングの確立に向けて

原信 セントラルマーケット 川崎店改装オープン!



2010年から開始したニューコンセプト・パートⅡという営業方針は「毎日の食生活を豊かに楽しく」を基本コンセプトに据え、新しい商品政策、アカ抜けた売場、生産性の高い売場の3つの柱で構成しています。10月に改装開店した原信セントラルマーケット川崎店では、今までのコンセプトを引き継ぎつつ新たな取り組みを開始しました。

ライブ感あふれる店内

楽しさ溢れるお買物体験をご提供します。作業室のガラス面を大きくとる事で、売場と作業室の一体感とライブ感を演出しています。



専門店化、ショップ化

ベーカリーコーナーではナポリピザを注文を受けてからピザ窯で焼き上げます。総菜コーナーの「てっぱん屋」では、お好み焼きや焼きそばをお客様の目の前で作っています。



サラダプロジェクト

365日朝昼晩の食卓に登場するサラダですが、手作り・時短・即食をテーマに、食卓シーンが想像できるような素材からトッピング、器(うつわ)までを提案しています。



しんとうあらい

フレッシュイ 榛東新井店 9月25日オープン!



「買いやすい売場」をコンセプトに、榛名山麓の榛東村にオープン。普段使いの商品は他社に負けない低価格を追求する一方、厳選した商品や、グレードの高い商品も随所に取り込んだ品揃えで、地域のお客様をお迎えします。



ワインセクション

バイヤーが厳選した、セクションコーナーを設けています。



食べ盛りサイズのおつまみ

100円均一やドーナツなど、お買い求めやすさと味にこだわりました。



地場野菜

地元で採れた野菜を扱うコーナーも充実しています。



単品大量陳列

スケールメリットをいかしたお買い得な商品を大量陳列しています。

めいけ

原信女池店 9月18日オープン!



「Happy」をコンセプトにオープン。鮮度感、密度感を感じられる見て楽しい、選んで楽しい売場作りで、お客様をお迎えします。

会社データ

会社の概要

商 設 所	在 地	号 立 地	アクシアル リテイリング株式会社 1967年(昭和42年)8月 新潟県長岡市中興野18番地2 Tel: 0258-66-6711 Fax: 0258-66-6727
資 上 証 券 従 業 員 数 (連 結)	本 取 引 所 コ ー ド	金 引 所 ド	31億5,971万2,610円 東京証券取引所市場第1部 8255 2,395名

取締役、執行役員および監査役

代表取締役会長	山崎 軍太郎
代表取締役社長	原 和彦
代表取締役副社長	植木 威行
取締役副社長・執行役員	五十嵐 安夫
専務取締役・執行役員	山岸 豊後
常務取締役・執行役員	小出 朗
取締役・執行役員	森山 仁
取締役・執行役員	丸山 三行
取締役・執行役員	加部 敏夫
取締役	細貝 巖 (社外取締役・独立役員)
執行役員	吉田 浩和 (財務経理部長)
執行役員	松口 克彦 (総務部長)
執行役員	小林 政信 (経営企画部長)
執行役員	丸山 将範 (TQM推進部長)
常勤監査役	八子 淳一 (社外監査役)
常勤監査役	増田 和弘
常勤監査役	藤田 友三郎
監査役	金子 健三 (社外監査役)

株主メモ

事業年度	4月1日から3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
中間配当基準日	9月30日
期末配当基準日	3月31日
株主優待制度	有(年2回)
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711(フリーダイヤル)

(お問合せ先
郵便物送付先)